

2024年10月1日
第580号
(毎月1日発行)

咲いたネット
URL：
http://www.saitanet.or.jp
Eメール：
saita@saitanet.or.jp



発行所
埼玉県労働組合連合会
〒330-0063
埼玉県さいたま市浦和高砂
3-10-11 第一木村ビル
TEL 048-838-0771
FAX 048-838-0775
編集発行人
埼玉県労働組合連合会
【定価】1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

第8期中期計画の実践で11万の組織へ
埼労連第36回定期大会

9月14日(土) 9時30分から、さいたま共済会館6階ホールで埼労連第36回定期大会を開催しました。



さいたま共済会館に219人が参加

今大会は、「憲法をいかに格差と貧困のない政治の実現 第8期中期計画の実践で11万人埼労連を回復しよう!」をスローガンに掲げ、深刻な物価高騰が国民生活に襲いかかるもと、要求実現と組織強化・拡大を、労働組合の姿を見せる取り組みを通じて実践すること。すべての世代の組合員の結集と成長という目的に対して、運動を強化したこの1年のた



新島議長あいさつ

かいから教訓を導き出し、新たな前進を切り開く方針を確立すること。この秋にも行われる解散総選挙で、要求実現を阻む自公政権と補完勢力による改憲策動に立ち向かい、「憲法」を生かし、誰もが普通に暮らしていける平和な社会の実現を目指して、その担い手となる仲間を増やすことで未来を切り開くための方針を確認しあう場として位置づけました。
また、第7期中期計画を終え、新たに提案される第8期中期計画(5カ年)で強調された学習と対話を重視し、仲間の



第7期中期計画組織表彰

要求に団結する労働組合・埼労連を強化させ、ジェンダー平等の社会実現を追求していくため、知恵と力を結集する出発点として、そのたたかいの先頭に立つ役員を選出する大会として開催しました。
大会は、さいたま共済会館での現地参加による開催で、多くの仲間の発言を保障し、役員定期選挙も当日に現地で行うなど、昨年に続き元の形での大会となりました。
大会には17単産・26地域組織から代表員153人の他、幹事会、特別代議員、来賓、傍聴など全体で219人が参加しました。

(2面につづく)

紙面から

- 第36回定期大会 (1面~3面)
- 自治体訪問行動 (6面)
- 最低生計費合意形成会議 (4面)
- 最賃宣伝 (7面)
- 建設アスベスト訴訟 (5面)
- 埼労共のページ (8面)

第36回定期大会 (詳細)

埼労連第36回定期大会は、竹嶋副議長が開会の宣言、大会諸役員を選出を行い、大会議長団による運営になりました。

来賓あいさつでは、蕨の頼高市長も駆け付け、連帯のあいさつをしてもりました。



蕨 頼高市長

新婦人 高田会長

全労連 竹下事務局次長

総括と方針提案

宍戸事務局長が活動の経過、第1号議案である2023年度の総括と2024年度運動方針案、付属議案である「秋のたたかい」、第3号議案の「第8期中期計画」

について、新年度方針の基調を中心に報告、諸井財政部長が2023年度の決算報告と2024年度財政方針および予算案をそれぞれ提案しました。

宍戸事務局長は、物価の高騰という厳しい状況の中でも、4つの重点課題で作り上げてきた到達の教訓として、昨年の大会で「ジェンダー平等宣言」を採択したことをきっかけに、各組織で女性役員の登用についての議論が前進したこと、次世代層のつながりづくりの前進と課題、当事者の要求を軸にした全員参加型の組織拡大などについて報告、東部地区協では交流企画が実施されたこと、深谷寄居地労連で次世代行事が実施されたことなどを教訓と課題を織り交ぜ報告しました。全国一律最賃



議案を採択

を目指すとりくみでは、この1年で、新たに4自治体で国に対する意見書が採択されたこと、商工会との懇談、市議会党派への働きかけなどのとりくみを報告。様々な分野で幅広い共同が前進できたこと、1年の到達と教訓を力に、新年度は、物価高騰に見合う賃上げを勝ちとり、組織増勢へ転換させるため、第8期中期計画の初年度として、学習を重視し、すべての取り組みを組織強化・拡大に結び付け、ジェンダー平等の取り組みの推進で活動参加の広がりをつくる1年に、また、秋にも予想される解散総選挙で自公政権と補完勢力を追い込み、改憲策動を許さない闘いを進めながら要求実現を目指

す1年にと提案しました。新年度の運動の基調は3つで、第1に、次世代層の結集・ジェンダー平等視点での結集で、持続可能な労働運動をすすめること、第2に、すべての組織が組織拡大の独自追及で組織を大きくし、要求実現を勝ち取る組織へ発展すること、そのためにも誰でもできる運動を目指し、活動参加のハードルを低くして、担い手を広げていくこと、第3に、賃金引上げ、最賃の底上げで格差と貧困の是正を実現するため、最賃闘争では、当面する秋の闘いで、全国一律最賃を求める意見書採択を広げるための取り組みをすすめる、格差のない、まともに暮らせる最低賃金に向けた法整備の実現、公務労働者の賃上げ闘争にも全体で取り組んでいくこと、そしてすべての取り組みを組織拡大につなげるため、「非正規労働者の組織化」と幅広い単体とのつながりをすすめることを強調しました。



争議団紹介

1年の組織強化の取り組みや24春闘闘争の取り組み、次世代対策の強化やジェンダー平等の推進などが豊かに語られ、1年間の運動の教訓と到達への確信を深めるものとなりました。討論終了後、幹事会総括答弁を受けて、議案の採択に移り、運動方針案、財政方針および予算案が賛成多数で採択されました。種承認案件、大会宣言の確認、大会スローガンの採択、役員定期選挙を行いました。役員定期選挙では、藤田省吾新議長をはじめ新年度の役員が選出されました。新年度役員を代表して、藤田新議長が代表してあいさつし、議長団及び所役員が解任され、最後に小野副議長の閉会あいさつ・藤田議長の間接ガンバロウで閉会となりました。

第36回定期大会(討論)

大会での各加盟組織と補助組織の発言(文書発言1組織含む)の趣旨は以下の通りです。



埼高教

大会での各加盟組織と補助組織の発言(文書発言1組織含む)の趣旨は以下の通りです。
埼高教(青年教員の組織化)、比企労連(公契約にかかわる組織化と秋の取り組み)、電機・情報ユニオン(組織拡大目指した駅頭宣伝)、医労連(医療現場の実態とケアユニオン結成に向けて)、私教連(組織強化と争議支援の闘い)、蕨地区労協(第8期中期計画実践・共同の役目果たす地区労協に)、深谷寄居地労連(次世代対策について)、埼教組(組織化と組合学習)、JMITU(組織建設と24春闘)、コープネットグループ労組(最低賃金と最低生計費の取り組み)、草加八潮地区労連(最賃引き上げ運動と次世代対策・学校給食と学童問題)、入間地

労連(平和と人権・地域での運動)、埼玉県国公(24人勧闘争と定員管理政策見直し)、産業ユニオン(郵政の公共サービスを取り戻す運動)、自治労連(春日部学童裁判・最低生計費調査の取り組み)、年金者組合(年金裁判)、北足立南部地区労(働くルールの確立・労働者の権利闘争)、戸田地区労(明治乳業争議支援)、春日部労連(民主団体との共同と平和を守る取り組み)、加須労連(学校給食無償化での市民運動)、全



深谷寄居地労連



医労連



埼教組

国一般(24春闘と争議の取り組み)、埼玉土建(産業の民主化に向けた組織強化と次世代・ジェンダーの推進)、埼玉ユニオン(労働相談での組織化からつながりづくりの強化へ)、入間東部労連(次世代を取り込む地域運動)、女性部(女性部の取り組みとジェンダー平等実現)、さいたま地区労連(次世代対策の取り組み)。



組織表彰

【議長】1名
藤田省吾(新)
【副議長】8名
伊藤修(新)、占部修吾(現)、沖田晴美(新)、小野知二(現)、北村明子(新)、竹嶋順二(現)、西口哲之(現)、前島英男(現)
【事務局長】1名

新年度役員

今定期大会で、4人が退任され、新しい体制が確認されました。

選出された幹事会役員は以下の通りです。



藤田新議長

【会計監査】3名
門井昇(現)、河村斌(現)、渡邊丈仙(現)



大会宣言を確認



埼玉土建

六戸出(現)
【事務局次長】2名
尾形佳宏(現)、諸井武志(現)
【幹事】29名

荒木雄山(現)、石井吉男(現)、泉田隆徳(現)、市川治彦(現)、岩月桃子(現)、上田秋江(現)、男女嶋聡(現)、柏原剛(新)、加藤靖(現)、金田正富(現)、神山勝彦(現)、小林朱美(新)、佐藤泉(現)、佐藤静子(現)、柴田久美子(新)、渋谷ひろみ(現)、白原滋(現)、瀬田裕司(現)、田中ふじ江(現)、新國孝久(現)、舟橋初恵(現)、町田誠(現)、三木誠一郎(現)、水野谷孝夫(現)、宮本まき子(現)、村山隆(現)、山崎秀弘(現)、吉野弘美(現)、龍尾由美子(現)

非正規でも働きがいを持てる職場めざし 埼労連非正規労働者部会総会

埼労連第21回非正規労働者部会総会が9月1日(日)午後2時から埼玉教育会館で開催され、18人が参加しました。

当初予定していたパネルディスカッションは、台風の影響による悪天候を鑑み、急遽中止になりました。

清宮部長の議案提案後、活動交流を行い、8組織(うち幹事団体6)から発言が出されました。SUは、「9人増勢で大会を迎えることと支部づくりについて」、埼

教組からは「会計年度任用職員の処遇改善を獲得」、医労連は「民医労のパート部会240人が組合員で組織率14%、41人の新規加入。企画を通じた労組宣伝」、自治労連は「非正規公共協として、仲間とのつながりづくりを追求」、私教連は「自由の森学園・組織率70%、食堂のパート職員は直雇用で定年ないため70代でも働ける」、コープネットグループ労組は、「春闘では時給100円アップ要求で50円獲得。楽しむ活動

を追求」などが発言されました。

幹事団体以外にも2組織から報告があり、電機・情報ユニオンからは、「時間外手当や目的別休

暇を獲得。沖電気の前で春闘宣伝をした」、北足立南部地区労に加盟する理研労組は、「理研労は2

50人の組織。4000人が直雇用のなかで7割が非正規。

基本的な単年度契約で一時的に金・退職金もない。全国にある研究所のため、東京の最賃を割らないこと、住宅

手当を要求し交渉している」と報告がありました。

交流後、清宮部長から「最賃に張り付いている非

正規労働者など、格差をうめ、処遇改善を求めて運動を広げていきましょう」とまとめの発言があり、議案および役員体制を全体で一括承認したのち、閉会となりました。

なお、中止にしたパネルディスカッションは来春に仕切り直して開催したいと冒頭に司会から挨拶があり、新年度の役員で具体化していく予定です。

9月7日(土)の午後2時45分から埼玉会館で最低生計費調査の若年層「合意形成会議」を行い、8団体(6単産)から13人が参加しました。

若者の暮らしについて話し合い 最低生計費調査合意形成会議

最初に合意形成会議の役割を確認しあったのち、順に自己紹介して早速会議へ。今回、2047部

集まった調査票のうち、若年単身者(10〜30代)の回答数は153部(前回の4倍)でした。

対象モデルの設定として、さいたま市南区に在住する「25歳の男性と女性」の両方の結果を出すこ

とを確認し、対象となるモデルが自宅を持つ「持ち物」や生活スタイル「年収や住まい、昼食、美容

容にかける費用、飲み会などのお付き合ひ、旅行など趣味の費用など」一つ一つを議論し、確認して

設定していきました。参加者の意見交換を行う中で、8年前との比較で、生活スタイルの変化や物価

高騰の影響が感じられる内容でした。

進行は、監修をお願いしている

(生計費調査に関するお問い合わせは、埼労連まで)

中澤修一准教授(静岡県立大学短期大学部)でしたが、事前取材として参加した埼玉新聞の30代の女性記者が内容に興味を持ち、いくつか質問。次におこなう「価格調査」にも同行したいと発言されました。この結果を早期にまとめ、9月中には実際の店舗に向いておこなう「価格調査」を実施し、10月下旬に『若年単身者(男性・女性)』の調査結果を公表する予定です。

青年の生活について話し合い



幹事組合などから18人が参加



青年の生活について話し合い

1日も早い全面解決めざし 建設アスベスト埼玉訴訟期日行動

9月11日(水)、建設アスベスト埼玉訴訟の第17回期日行動がおこなわれ、各支部からの仲間と、全建総連などの来賓あわせて94人が参加、埼労連からは新島議長が参加しました。

午前は、県民健康センターで、賃金労働対策の山本書記による右

綿給付金関連の学習をおこない「アスベストに係わる法改正」というDVDを視聴しました。

その後、さいたま地裁前に会場を移し「地裁前集会」を開催しま



地裁前集会

した。組合を代表して小峰委員長があいさつをおこない、続けて支援団体からもあいさつを受けました。原告団によるマイクリレーでのあいさつでは、神奈川の原告団からも参加者からあいさつがありました。

口頭弁論終了後は、再び、会場を県民健康センターに移し「報告集会」が開かれました。あらためて支援団体からのあいさつがおこなわれ、全建総連の田久労対部長は「アスベスト被害者すべてが救済されて、はじめて『勝利した』

と言える。全建総連としてもより一層運動を強めていきたい」と発言しました。建設アスベスト訴訟

全国連絡会の清水事務局長は「建材メーカーによる、いわゆる反社会的な対応を打ち砕くには、世論による包囲がなければ、和解に向けた前進はない。被告企業の中に、アスベスト建材を使用した屋根材を販売していた『クボタ』は

含まれていない。こういう企業にも必要な費用負担を求めるべき

だ」と述べました。弁護団から訴訟に関する経過と今後の進行について報告がされた後、埼玉原告団からの訴えがおこなわれ、代表して高松原告(草加)から「16年たたかってきた成果として給付金制度という形がつけられたことはうれしいが、謝罪もせず時間稼ぎを続ける建材メーカーの姿勢は許せない。すべての被害者が1日でも早く救済されるよう奮闘を続けていきたい」と述べました。



県民健康センターで報告集会

この間の活動報告と今後の行動定期がされた後、石川・本部賃労対部長の閉会あいさつと団結カンパロウで終了しました。

(埼玉建発)

最賃宣伝 (鴻北労連)

鴻北労連(鴻巣北本地域労働組合連合会)は8月20日(火)夕方、北本駅で、「最賃を全国一律で早急に1500円に引き上げて暮らしと地域を守ろう」などの宣伝行動を行いました。

宣伝行動は、毎月取り組んでいます。「物価の高騰の影響で労働者・国民の生活は大変です。中小企業で働く人、フリーランスや医

療、介護、教育、保育、福祉などのケア労働者、自治体労働者など全ての労働者の賃金の底上げが必ずです」と訴え、「全国一律最賃制をつくり、時給1500円の声をあげよう」、「労働問題で困りの時は埼労連に気軽に相談してください」とチラシを配りながら呼びかけました。

鴻北労連 **ニュース**

2024年8月号発行
鴻巣北本地域労働組合連合会幹事会
北本市石戸1-217-2 埼玉建発

変わりそうめんで一周年を振り返る!

8月18日(日)桶川公民館にて、埼玉ユニオン中部支部のついでが開催されました。いろんな薬味とトッピングを準備し、そうめんを茹でて熱々と食べた後は、支部行事の1年間の取り組みを振り返りました。支部企画、本部や埼労連の企画にも複数で参加し、感想で「こうしてみるとずいぶんいろいろやってきたね」「食べる企画が多かったね(笑)」「裁判の傍聴ができて良かった」等々。今後の目標や要望として「外に出る企画がもっとあってよいのでは?」「宣伝が大事。集まる行動の前夜にちよつとでも...」など、前向きな意見が出ました。最後は、冷たくて甘い西瓜を頂き締めました。



全国一律最低賃金の引上げを!

8月20日(火)夕方、鴻巣北本地域労働組合連合会は北本駅で、最賃を全国一律で早急に1500円に引き上げて暮らしと地域を守ろうなどの宣伝行動を行いました。宣伝行動は、毎月取り組んでいます。「物価の高騰の影響で労働者・国民の生活は大変です。中小企業で働く人、個人企業主や医療、介護、教育、保育、福祉などのケア労働者、自治体労働者など全ての労働者の賃上げが必要」と訴え、「全国一律最賃制をつくり、時給1500円の声をあげよう」、「労働問題で困りの時は埼労連に気軽に相談してください」とチラシを配りながら呼びかけました。



記事募集

埼労連では、各加盟組織の行事や取り組みなどの記事を募集しています。

取り組みの中身を400〜600字程度の記事にしてもいい、可能な限り写真を添えて埼労連まで寄せてください。

よろしくお願ひします。

2024全自治体訪問行動

今年も11月11日から、県内の63市町村への『2024年全自治体訪問行動』が始まります。

会計年度任用職員制度の運用については、正規職員も含めて改訂される『地域手当』による不合理な格差の是正、フルタイム・パートタイムへの対応の格差の課題とあわせて、正規職員と会計年度任用職員の賃金格差をなくしていくことが重要課題となります。

今年も11月11日から、県内の63市町村への『2024年全自治体訪問行動』が始まります。一方で正規職員の時間外労働の適正化も課題としてあります。年間1000時間をはるかに超える職員が、いまだにいくつもの自治体で存在していることは大きな問題です。時間外労働の上限規制を定めた「働き方改革」によって民間労働者に適用されている上限規制を原則として運用させるよう求めても必要です。

また、公契約の適正化では、公契約条例の制定を展望する視点で公共工事と業務委託の落札率について、設計労務単価の引き上げに对应できる仕組みづくりなどの意見交換を深め、公契約に対する自治体職員の意識を変えていく必要があります。

9月下旬から10月上旬にかけて、4つの地区協会の学習会が取り组まれました。今後は、地域組織単位の学習会が行われ、懇談に向けた準備が始まります。

(※日程は変更になる可能性があります)

2024年 秋の自治体訪問 日程

集合時間	9:30	12:40	15:10	担当地域組織	
開始時間	10:00	13:10	15:40		
終了時間	11:15	14:25	16:55		
11月11日 (月)	①	小鹿野町	皆野町	長瀨町	秩労連
	②		吉見町	東松山市	比企労連
	③	所沢市	狭山市		所沢地区労・狭山地区労
	④	新座市	志木市	朝霞市	北足立南部地区労
	⑤	桶川市	上尾市	伊奈町	AOI労連
11月12日 (火)	⑥	越谷市	吉川市	松伏町	越労連
	⑦	入間市	飯能市	日高市	入間地労連・飯能日高地労連
	⑧		鴻巣市	北本市	鴻北労連
	⑨	杉戸町	宮代町	白岡市	埼玉北労連
	⑩	川島町			比企労連
	⑪		横瀬町	秩父市	秩労連
11月13日 (水)	⑫	ふじみ野市	富士見市	三芳町	入間東部
	⑬	さいたま市			さいたま地区労
	⑭		久喜市		埼玉北労連
	⑮	東秩父村	小川町	ときがわ町	比企労連
	⑯		本庄市	神川町	本庄児玉地労連
	⑰		和光市		北足立南部地区労
11月14日 (木)	⑱		深谷市		深谷寄居
	⑲	蓮田市	春日部市		蓮田地労連・春日部労連
	⑳			八潮市	草加八潮地区労
	㉑	川越市	鶴ヶ島市	坂戸市	川越・坂戸鶴ヶ島地区労
	㉒	行田市	羽生市		行田地区労
	㉓	加須市		幸手市	加須労連・埼玉北労連
11月15日 (金)	㉔	蕨市	戸田市		蕨地区労・戸田地区労
	㉕			川口市	川口地区労
	㉖	三郷市	草加市		三郷市労連・草加八潮地区労
	㉗	鳩山町	嵐山町	滑川町	比企労連
	㉘		上里町	美里町	本庄児玉地労連
	㉙		越生町	毛呂山町	坂戸鶴ヶ島地区労
11月20日 (水)	㉚	寄居町	熊谷市 ※14:00~		深谷寄居地労連・熊谷地労連

埼玉県労働セミナー

埼玉県公式
YouTubeで
一般公開 (無料)

カスタマーハラスメント対策

近年、職場におけるカスタマーハラスメント(顧客等からの暴行、脅迫、ひどい発言、不当な要求等の著しい迷惑行為)が多発しています。カスタマーハラスメントは従業員に過度な精神的ストレスを感じさせるとともに、通常の業務に支障が出るケースもみられるなど、企業や組織に多大な損失を招くことも想定されます。本セミナーでは、カスタマーハラスメントに関する基礎知識や、従業員を守るための対応法について専門家詳しく解説します。

★ 講義内容 ★

厚生労働省が作成した「カスタマーハラスメント対策企業マニュアル」を解説した動画です。カスタマーハラスメント対策の主なポイントを事業者向けにわかりやすく解説しています。ポイントをまとめた要約版と、より詳しく解説した詳細版の2種類があります。

① 要約版 令和6年9月12日(木) 配信開始
「カスタマーハラスメント対策の重要ポイント」(約10分)

② 詳細版 配信中
「今、企業に求められるカスタマーハラスメント対策」(約80分)

講師



特定社会保険労務士 高木 美香氏

講師プロフィール
さいたま市で高木美香社会保険労務士事務所を設立。社会保険労務士として、企業の労務管理についてのアドバイスや規程作り、各種手続、給与計算などの業務を行うほか、ハラスメント防止コンサルタント、キャリアコンサルタントとして、働きやすい職場環境作りを目指した活動を行っている。

どなたでもご視聴いただけます。

カスタマーハラスメント対策

ご視聴は【二次元コード】または「埼玉県 労働セミナー」で検索!

(主な内容)

- カスタマーハラスメントの基礎知識と対策の必要性
- カスタマーハラスメントの実態と対応例
- 企業が取り組むべきカスタマーハラスメント対策

・要約版 (約10分)

「カスタマーハラスメント対策の重要ポイント」



<https://youtu.be/g92eYzU5dU>

・詳細版 (約80分)

「今、企業に求められるカスタマーハラスメント対策」

(動画は3本に分かれております)

① <https://youtu.be/aZDl88zJf0M>



② <https://youtu.be/UszkYuPu1Fg>



③ <https://youtu.be/jjmYXVRv9dQ>



注意事項

- ・通信環境の契約内容によっては、別途通信料が自己負担として発生します。
- ・視聴後の質問等は受け付けておりません。
- ・当セミナーは受講証明書を発行いたしません。



コパソコム株式会社

お問合せ先

埼玉県 産業労働部 多様な働き方推進課
TEL 048-830-4518 Mail: a3960-09@pref.saitama.lg.jp

主催 彩の国 埼玉県

埼玉県労働セミナー案内

10月の上映案内

10月の上映は「お終活・再春！人生ラプソディ」です。

昨年2月に上映し1000人を超える観客を集めた「お終活・再春！人生、百年時代の過ごし方」の第2弾です。

誰でも心の中にひっそりとしてしまっている、幼い頃や、青春時代の夢や憧れ。自身の生前整理だけでなく、これからの人生も楽しむ。それもまた一つの「終活」＝「再春」。

高畑淳子、橋爪功、剛力彩芽らに加え、藤原紀香、大村崑など豪華キャストです。

10月24日(木)

埼玉会館小ホール

- ① 10時30分
- ② 14時
- ③ 18時30分



*埼玉労共専用当日精算券をご利用の場合、900円で鑑賞いただけます。(お問い合わせは埼玉労連へ)

年金共済のメリットを知ろう

期間限定募集の「年金共済」について計画的に老後資金を貯めることができる内容を知るチャンスです！

■「楽々！年金共済ではじめる資産形成オンラインセミナー」

全労連共済の「年金共済」は予定利率1・15%。今すぐ資産形成をスタートさせたいと思っ

ている方、運用リスクを避け安全性を重視する方にはもってこいです。

生命保険料控除の対象で所得税・住民税を軽減できること、教育資金・住宅資金に充当することも

詳細は埼玉労連まで 048-8338-0771

奨学金応援サポーター募集

埼玉連がすすめる運動のひとつ「奨学金」の拡充を求めるとりくみについて、コープみらい財団が扱う給付型の奨学金の応援サポーター募集の紹介です。

サポーター募集の詳細や奨学金等詳しい内容についてはコープみ

あなたの毎月100円(一円)の基金が、経済的に大変な高校生(奨学生)の応援になります!!

コープみらいは、ひとり親家庭(両親がいない方)の高校生を、経済的な奨学金で応援します。

奨学金応援サポーターは、コープみらい奨学金給付事業とは、コープみらいの職員で経済的に大変な高校生を、経済的に奨学金で応援します。

奨学金応援サポーターとは、コープみらいの職員で経済的に大変な高校生を、経済的に奨学金で応援します。

奨学金応援サポーターとは、コープみらいの職員で経済的に大変な高校生を、経済的に奨学金で応援します。

第3回福祉共済セミナーと埼玉労共総会のお知らせ

参加費 無料

今から続ける 今からはじめる

第3回 福祉共済セミナー 共済(保険)と投資どう違う? ~年金共済は若者の味方~

10月26日(土) 埼玉会館3B会議室

- 前半の部 13:30~14:50 第3回福祉共済セミナー
- 後半の部 15:10~16:30 埼玉労共第20回総会

オンライン併用(セミナーは、組合員ならどなたでも参加できます) ZOOM (ミーティングID: 97954295413 パスコード: 104102)

* 特に若い組合員と共済担当者には聞いていただきたいセミナーです！ * お問い合わせ: 埼玉県労働者福祉共済会(埼玉労共) 048-838-0771【担当: 龍尾】

※上記のセミナーとは別の案内です